

実物投影機で大きく映し、課題や考え方を共有する

単元名「新しい計算を考えよう」(2年)

岸和田市立新条小学校

ICT 活用のポイント

- ・かけ算(九九)の学習での導入で、縦横に整列した子ども的人数を数える方法を、ワークシートを使って、各児童に図で考えさせて発表させるときに、実物投影機及び電子黒板を使用してわかりやすくする。

学習の流れ



- ①遊園地の入り口にいる子ども達的人数を数えるという課題を知り、きちんと並んでいるクラスの子どもの人数が、なぜ数えやすいのかを意見を出し合う。

- ②各自がワークシートに、どのように数えたのか図や文で説明をかく。



- ③各自がかいたワークシートを、教材提示装置を利用して、電子黒板に提示しながら発表する

活用のポイント

- ・発表する児童には、自分のワークシートの上を指でなぞって、説明させる。また、画面が説明者で隠れないよう左か右に寄るように指示する。



縦に6人ずつ4列と見たり、横に4人ずつ6列と見たりできることに気づかせる。

たし算で立式すると、 $6+6+6+6=$ や $4+4+4+4+4+4=$ になることを理解させる。

- ④ゴーカートに乗っている子ども的人数を求める。
(一台に4人ずつ、3台分 立式すると、 $4+4+4$ で求められることを理解させる。)

- ⑤本時のまとめをする。「一当たりの数量がわかると、計算がしやすくなること」

使用する機器・教材等

実物投影機、電子黒板